



2023年度 お盆期間ご利用実績

2023年度お盆期間(2023年8月10日～20日)における、JALグループ航空会社便のご利用実績を取りまとめましたので、ご報告します。

国内線は、8月15日を中心に台風7号による欠航便が多数出たものの、総旅客数は前年を上回り、2019年度比でも95.9%まで回復しました。また、台風の影響による欠航便に伴う臨時便を運航し、お客さまの需要に対応しました。方面別では、全方面で前年を上回る総旅客数となり、特に中国・四国方面では、前年比で120%を超えました。日別のピークは、下りが8月11日、上りは8月20日となりました。

国際線は、日本を含めた各国の水際規制撤廃などにより、搭乗率が85%まで回復しました。方面別では、全方面で前年の総旅客数を上回り、ホノルル線においては臨時便を2便運航するとともに、特に、ハワイ・グアム線、台北線、ソウル線の搭乗率が90%を超えました。日別のピークは、日本出発は8月11日、日本到着は8月19日となりました。

【JALグループご利用実績】

※ 前年比は2022年8月10日～20日、FY19比は2019年8月10日～20日の実績と比較

1. 国内線 (JAL、J-AIR、JAC、HAC、JTA、RAC各社合計)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ FY19比		前年比/ FY19比		前年差/ FY19差
1,460,708席 (2022年度 1,544,452席) (2019年度 1,514,034席)	94.6%/ 96.5%	1,251,934人 (2022年度 1,108,177人) (2019年度 1,306,071人)	113.0%/ 95.9%	85.7% (2022年度 71.8%) (2019年度 86.3%)	+13.9pt/ ▲0.6pt

2. 国際線 (JAL)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ FY19比		前年比/ FY19比		前年差/ FY19差
255,432席 (2022年度 182,242席) (2019年度 338,697席)	140.2%/ 75.4%	218,786人 (2022年度 133,058人) (2019年度 316,334人)	164.4%/ 69.2%	85.7% (2022年度 73.0%) (2019年度 93.4%)	+12.7pt/ ▲7.7pt

詳細につきましては、添付別紙をご覧ください。

以上